



2021年1月15日

各位

会社名 トヨクモ株式会社
代表者名 代表取締役社長 山本 裕次
(コード番号：4058 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理本部長 石井 和彦
ir@toyokumo.co.jp

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年9月24日に公表した2020年12月期通期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,036	百万円 192	百万円 184	百万円 120	円 銭 12.60
今回修正予想 (B)	1,095	246	234	150	15.66
増減額 (B - A)	59	53	50	29	—
増減率 (%)	5.7	27.5	27.1	24.3	—
(参考) 前期実績 (2019年12月期)	761	97	98	72	8.22

(注) 2020年11月1日から2020年11月30日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が17,000株増加しております。前回発表予想及び今回修正予想の「1株当たり当期純利益」については、当該増加株式数を反映して算定しております。2021年1月1日を効力発生日として株式1株について2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正の理由

新型コロナウイルスの感染拡大の影響のもと、各企業においてリモート勤務が常態化してきたことやまた地方自治体などにおいてもデジタルトランスフォーメーションによる需要が高まったことなどから、kintone 連携サービスが予想を上回って推移したこと、また安否確認サービスにおいても地震や大雨などの自然災害が発生した際の安否確認ツールとしてだけでなく、パンデミックをはじめとした非常時の連絡手段や情報共有ツールとしての認知が拡大したことから、売上高は 1,095 百万円となる見通しです。費用面につきましては、安否確認サービスの認知度向上のためテレビ広告などのマス広告を中心に広告宣伝費を積極的に投下したものの概ね前回予想時の計画通りとなる見込みです。

その結果、営業利益は 246 百万円、経常利益は 234 百万円、当期純利益は 150 百万円となる見通しです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上